

# 施設における集団感染の 対応について

---

小樽市保健所

健康増進課 感染症担当

# 市内の集団感染の発生状況と傾向

---

- 令和6年以降は感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の集団感染が急増
- 高齢者施設では特に新型コロナの集団感染が多い

# 感染とは

---

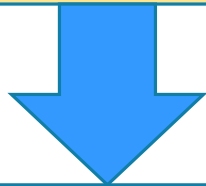
病原体が身体の中に入り、増殖して様々な症状を引き起こすこと

# 感染の3要素

---

## 感染源

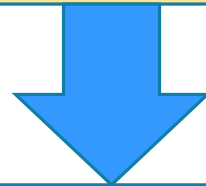
病原体は目に見えない  
ため常に注意が必要



感染源である  
病原体をなくす

## 感染経路

空気・飛沫・接触等で  
拡がる



感染経路を  
遮断する

## 宿主

高齢者等 抵抗力が低い  
人はかかりやすい



人の免疫力をあげる  
(予防接種等)

# 感染の3要素

全部そろえると感染成立

## 感染源

病原体は目に見えない  
ため常に注意が必要



感染源である  
病原体をなくす

## 感染経路

空気・飛沫・接触等で  
拡がる



感染経路を  
遮断する

## 宿主

高齢者等抵抗力が低い  
人はかかりやすい



人の免疫力をあげる  
(予防接種等)

# 感染対策の基本

---

- ① **感染しない**：自分も入居者も感染しない
- ② **感染させない**：入居者を感染させない
- ③ **持ち込まない**：施設内、フロア内、室内に感染を持ち込まない
- ④ **拡げない**：施設内、フロア内、室内の感染を拡げない

# 標準予防策とは (スタンダードプリコーション)

---

感染の有無に関わらず、汗を除くすべての体液(血液・唾液・分泌物(痰など)・嘔吐物・排泄物(尿・便)・創傷皮膚・粘膜等)は感染源となるため、いつも感染する危険性があるものとして取り扱うこと



# 汗を除くすべての体液とは

---

■血液

■唾液

■分泌物(痰など)

■嘔吐物

■排泄物(尿・便)

■創傷のある皮膚  
(手荒れや皮膚病変を含む)

■すべての粘膜  
(口腔・鼻腔・結膜・  
肛門・尿道口・膣など)

# 標準予防策ができれば・・・

---

- ★介護する職員から利用者への感染を防ぐことができる
- ★利用者から介護する職員への感染を防ぐことができる
- ★利用者の病原体が、介護する職員を介して、別の利用者へ  
広がることを防ぐことができる

# 標準予防策はいつ行うのか

---

どの利用者に対しても、どのような場面においても実施します！

■汗を除くすべての体液に曝露する場合

または曝露の可能性がある場合

■粘膜や創傷のある皮膚に接触する場合

# 標準予防策の概要

---

■**手指衛生**

■**個人防護具**

■呼吸器衛生・咳エチケット

■患者の配置

■患者ケアに使用した

機器・器具/器材の管理

■環境の整備

■リネンの取り扱い

■安全な注射手技

■腰椎穿刺時の感染対策

■針刺し・切創/

皮膚・粘膜曝露予防

# 手指衛生とは

---

手指消毒や石けんと流水による手洗いをを行うことにより、手指の微生物数をできる限り減らすこと

**手指衛生は感染対策の基本です！**

# 手指衛生の方法

---

## 手指消毒



目に見える汚れがないとき

## 手洗い



- ・目に見える汚れがあるとき
- ・アルコール消毒が効かない微生物が付着しているとき  
→ノロウイルスなど
- ・必ず石けん＋流水で実施

## 感染性胃腸炎の市内発生状況（最新更新日 令和8年1月23日）

### 【月別発生状況】

令和7年 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数（件）	1	3	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1
有症者数（人）※	18	40	217	0	0	9	0	0	0	27	0	21

令和8年 月別	1月
件数（件）	1
有症者数（人）※	12

### 【年次別発生状況】

年別	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
件数（件）	3	2	4	9	1
有症者数（人）※	62	58	150	332	12

※ 最新の人数は増減する可能性があります。

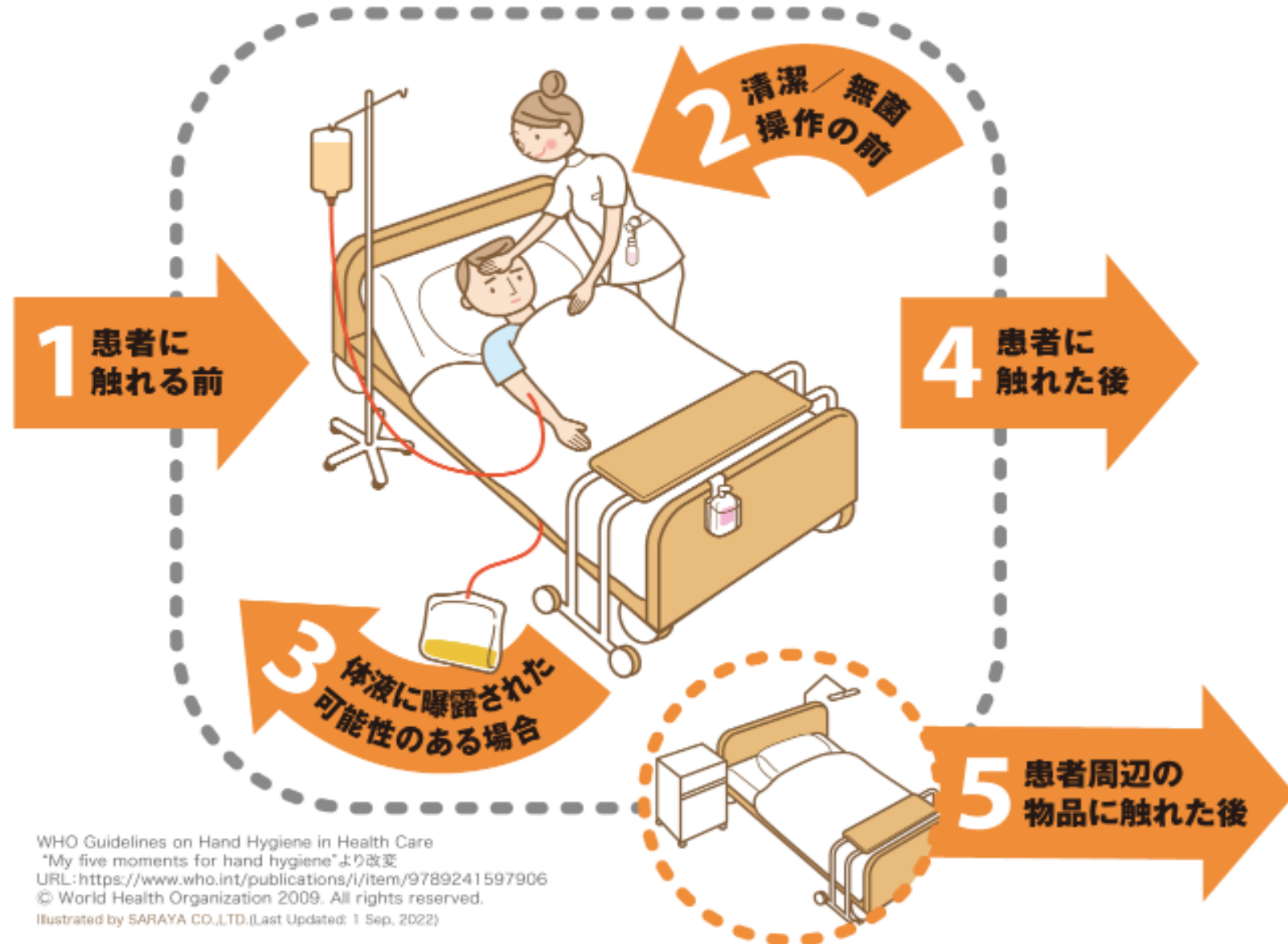
小樽市ホームページから抜粋  
(令和8年1月23日時点)

# 市内の 感染性胃腸炎 発生状況

# 手洗いで汚れが残りやすい部位



# 手指衛生5つのタイミング



WHO Guidelines on Hand Hygiene in Health Care  
"My five moments for hand hygiene"より改変  
URL: <https://www.who.int/publications/i/item/9789241597906>  
© World Health Organization 2009. All rights reserved.  
Illustrated by SARAYA CO.,LTD.(Last Updated: 1 Sep, 2022)

# 5つのタイミング 具体的な場面

---

## ■患者に触れる前

- ・握手の前
- ・移動など介助の前
- ・入浴や清拭の前
- ・バイタルサイン測定前
- ・触診
- ・聴診の前

## ■清潔・無菌操作の前

- ・口腔ケアの前
- ・吸引の前
- ・損傷皮膚のケアの前
- ・創部ドレッシングを行う前
- ・カテーテル挿入、血管確保の前
- ・食事・投薬・ドレッシング剤の準備の前

# 5つのタイミング 具体的な場面

---

## ■体液に曝露された可能性のある場合

- ・ 口腔ケアの後
- ・ 吸引の後
- ・ 損傷皮膚のケアの後
- ・ 液体検体の採取および処理をした後
- ・ 尿・便・吐物を除去した後や汚物の処理をした後

## ■患者に触れた後

- ・ 握手の後
- ・ 移動など介助の後
- ・ 入浴や清拭の後
- ・ バイタルサイン測定後
- ・ 触診
- ・ 聴診の後

# 5つのタイミング 具体的な場面

---

## ■患者周囲の物品に触れた後

- ・ ベッドやリネン交換の後
- ・ ベッド柵をつかんだ後
- ・ 点滴速度調整の後
- ・ オーバーテーブルを清掃した後

# 個人防護具

---

手袋やガウンなど感染症を引き起こすおそれのある微生物から身を守るために着用するもの

# 個人防護具は目的に応じて使い分け

汗を除くすべての体液

手が汚染

手袋

体が汚染  
(衣服や体幹部)

ガウン  
エプロン

顔の粘膜が汚染

マスク、ゴーグル  
など  
目・鼻・口の防御

# 個人防護具の着用と外し方のポイント

---

- 必要なときに着用
- 処置が終わればその場で外す
- 利用者ごとに交換
- 着脱前後に手指衛生を実施

# 利用者がホールで食事中に 突然嘔吐したとき・・・

---

- 誰が
- どんな個人防護具を着て
- どのような対応をするのか

決まっていますか？

# 日頃からの準備が大切です！

---

- 特に感染拡大が起こりやすい「呼吸器症状」「嘔吐・下痢症状」には注意が必要
- 施設内で情報共有しましょう
- 誰が第一発見者になっても同じ対応ができるよう、報告・連絡・相談の仕組みやルールを把握しましょう

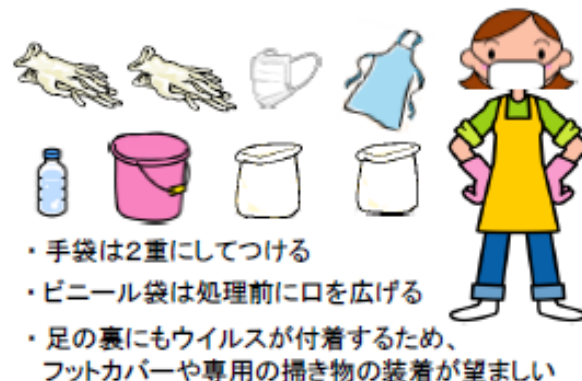
# 嘔吐時の対応

## 処理の準備

速やかに処理できるよう、普段から用意しましょう！

《身じたくに必要な3点+処理に必要な3点》

・手袋 2組	} 使い捨て	・使い捨ての布など
・マスク		・ビニール袋 2枚
・エプロン		・消毒液(直前に作成)



## 処理の手順

### ◎ ステップ1 ウィルスを吸い込まない対策

○ 汚物を覆う



使い捨ての布やペーパータオルなどで吐物を覆う

○ 立ち入り禁止・換気

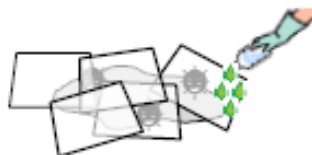


周りにいる人を遠ざけて換気をする



### ◎ ステップ2 汚物の回収

① 0.1%消毒液



静かに消毒液を覆った上から注ぐ

② 吐物を残さず回収



広げないよう、外から内に集める  
終わったら、外側の手袋を捨てる

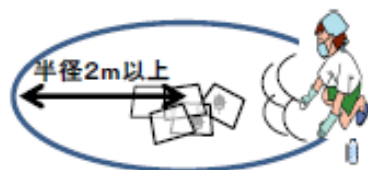
③ 汚染物の消毒



消毒液を入れて口をしぼる

### ◎ ステップ3 消毒・手洗い

① 拭き取り



十分な範囲を、浸すように拭き取る

② 汚染しないよう防護物品をはずす



新しい袋に汚染物と防護物品を入れる

③ 適切な手洗い



全て終わったら必ず手洗い！

☑詳細は小樽市ホームページをチェック♪

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020101700065/>

# 小樽市ホームページ

## 市内の感染症発生状況について（感染症発生動向調査）

### 感染症の発生状況について

#### 主な定点把握感染症(流行状況) 小樽市・2026年第1週 (12月29日～1月4日)

疾病	第1週	前週比	警報・注意報 レベル	警報 基準値	注意報 基準値
急性呼吸器感染症(ARI)	27.75	↓ 減少			
新型コロナウイルス感染症	1.50	↓ 減少			
インフルエンザ	4.75	↓ 減少		30.0	10.0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	↓ 減少		8.0	
RSウイルス感染症	5.00	↓ 減少			
ヘルパンギーナ	0.00	→ 横ばい		6.0	
咽頭結膜熱	0.00	↓ 減少		3.0	
感染性胃腸炎	3.50	↓ 減少		20.0	
手足口病	0.00	→ 横ばい		5.0	
水痘	1.00	↓ 減少	警報2週目	2.0	1.0
伝染性紅斑	0.00	→ 横ばい		2.0	
突発性発疹	0.00	→ 横ばい			
流行性耳下腺炎	0.00	→ 横ばい			

市内の感染症発生状況や  
流行している感染症が  
わかります

インフルエンザ：定点当たりの報告数が4.75で、警報解除となりました。

# 小樽市ホームページ

## 感染症の集団発生について（令和7年度）

感染性胃腸炎の集団感染が  
わかります

### 感染性胃腸炎の集団発生について

小樽市内で感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者が発生したのでお知らせします。

#### 【直近の発生状況】

施設種別	患者数※	保健所受理日	確認したウイルス
------	------	--------	----------

保健所のホームページを  
ぜひご覧ください

「小樽市」「感染症」で検索♪